

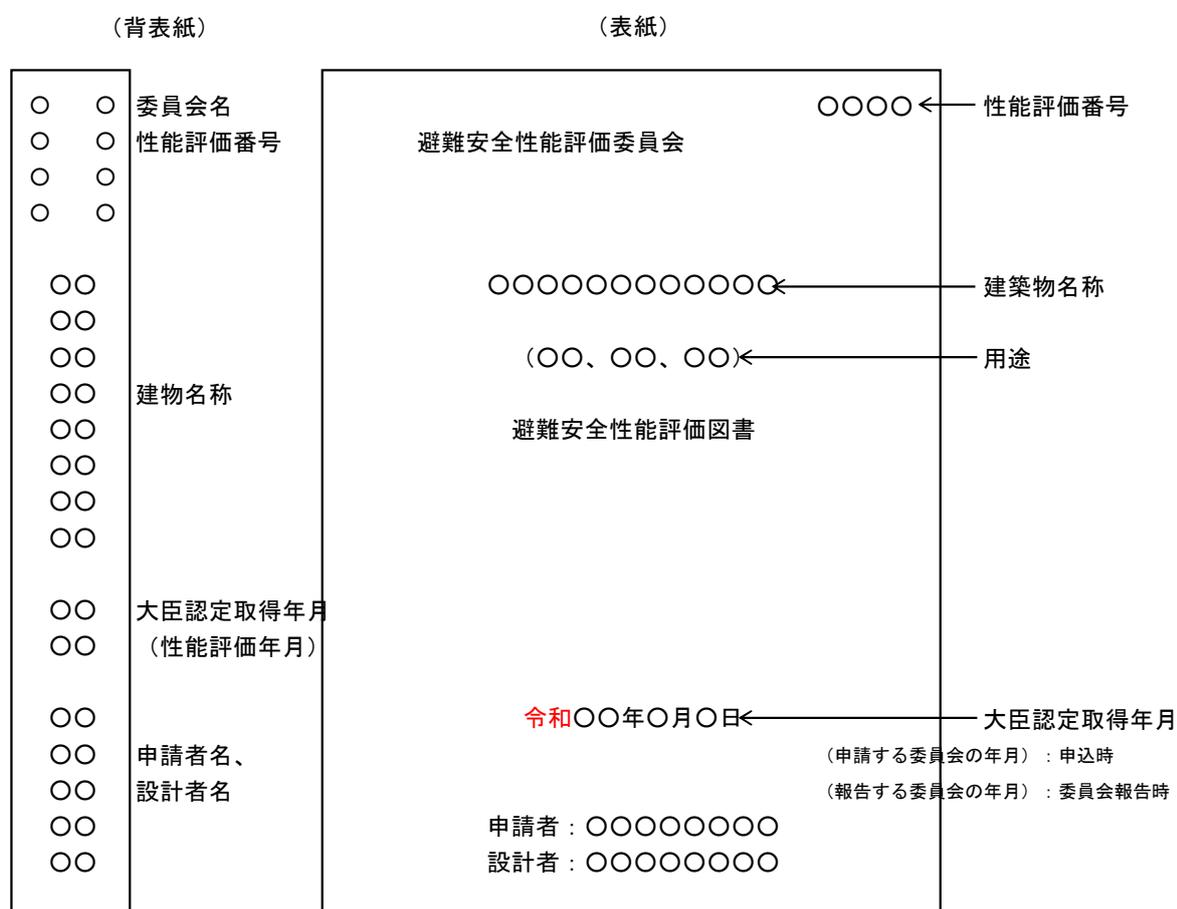
最終保存図書 作成要領 (避難安全性能評価)

1. 最終保存図書の提出時期

大臣認定書受領後 2 週間以内にご提出下さい。

2. 最終保存図書の装丁

- ・ A4版製本で1冊にまとめたものとして下さい。
- ・ 表紙の仕様は、以下を基本とし、作成してください。
なお、金文字黒表紙製本も可とします。
○ 材質 : レザック厚口、模様 : レザック66
○ 色はクリーム
- ・ 大きい図面 (青焼きは不可とします) 等は折り込んで下さい。
- ・ 表紙、背表紙の文字のレイアウトは、下図に示したとおりです。



3. 最終保存図書の内容

- ・ 最終版図書とは、**大臣認定申請図書**及び性能評価用提出図書に、委員会及び部会において、指摘された事項等については、変更、修正、差し替え等を行い、ご提出頂いた追加検討資料を添えた最終の図書です。
- ・ 「**大臣認定書（写し）＋別添**」、「**性能評価書（写し）**」を最初に入れてください。
※別添は必ず「UHEC印」のあるものの写しとして下さい。
- ・ 追加検討資料がある場合は、性能評価用提出図書の次に入れて下さい。
- ・ その他、委員会及び部会における指摘事項回答書を末尾に入れて下さい。

4. 最終保存図書の目次例

- (1) 大臣認定書（写し）
別添(UHEC印のある資料のコピー)
- (2) 性能評価書（写し）※評価内容の概略を含む
- (3) 性能評価申請書（写し）（様式SH-避-A01）
- (4) 目次
- (5) 建築計画の概要を記載した図書
- (6) 建築設備計画の概要を記載した図書
- (7) 建築設計図書（平面図（防火区画図と兼用）、立面図、断面図、及び建築物の各部分の詳細図、屋内仕上げ表等）
- (8) 防災計画の概要を記載した図書
- (9) 避難安全性能を検証するため図書
- (10) 上記の計算に用いたデータ等の根拠となる資料（試験成績書、調査報告書、その他）
- (11) その他避難安全性能を評価するために必要な事項を記載した図書
- (12) 追加検討資料
- (13) 指摘事項回答書（委員会・部会を含む）***報告委員会議事録は事務局にて作成し送付します。**
((4)以降は、**報告委員会**時にご提出いただいた資料です。)

4. 最終保存図書の提出方法

図書は「申請者・設計者様用」、「都市居住評価センター用」が必要です。

- ・ **申請者・設計者様用**
【製本図書(必要部数)】もしくは【電子データ (PDF)】でご提出ください。
- ・ **都市居住評価センター用**
【電子データ (PDF)】でご提出ください。

上記要領で図書を作成して、**事務局宛**にご提出下さい。

製本図書：事務局により内容確認を行った上で、確認済印を押印し、ご返却いたします。

電子データ(PDF)：内容確認を行った上で、パスワード設定したデータをご返却いたします。

避難安全性能評価用提出図書 一目次及び必要記載事項一

SH-避-A05

章	目次		必要記載事項	備考	
1	建築物の概要	1.1	建築物概要	・建物名称／建物規模／構造種別etc ・避難安全性能に該当する理由	様式(SH-避-A04)に従い記入 令第112条／令第119条／令第120条／令第123条／令第124条／令第125条／令第126条／令第129条
			1.2	付近案内図	・付近案内図 (S=1/10,000程度)
		1.3	建築計画概要	・配置計画	建築物の計画上の特色(敷地計画、隣接建物の状況)等を文章で記載
				・断面計画	階毎の主な用途を表で明示(小規模の場合は省略してよい)
		1.4	建築図概要	・平面図(防火・防煙区画図)	平面図は、1階平面図(配置図兼)・基準階平面図等代表的な階のみを示し、残りは資料末尾8章とする。平面図には防火区画を示すこと。断面図、立面図についても代表的な図面(建物の概要が分かる程度)のみを示し、残りは8章とする。建物規模が小さい場合は本節に全て示しても良い。
				・断面図 ・立面図	
1.5	設備計画概要	・防災設備機器一覧表	防災設備は明示、他は適宜記載		
2	防災計画の概要	2.1	防災計画上の特徴	・防災計画の基本方針 ・避難階の位置	
			2.2	防災計画の概要	・配置図
		・防火区画図、防煙区画図			
		・安全区画図 ・各階区画図			避難経路を記載
		・防災設備の概要 ・その他	管理・運営方針について記載、巻末補足資料として明記しても良い。 その他必要事項を記載		
3	避難安全性能検証	3.1	評価項目一覧	・ルートC申請を行う理由 ・評価項目一覧	様式(SH-避-A05)に従い記入
			2.2	避難計画の方針	・火災室の設定方法
		1) 可燃物量の設定方法			固定・収納可燃物量の設定方法を明記
		・在館者の設定方法			告示第1441号・第1442号／調査結果etc
		・避難行動の予測方法			
		1) 避難開始時間			告示第1441号・第1442号／調査結果etc
		2) 避難行動時間			
		3) 算定結果、まとめ			
		・煙等の流動性状の予測方法			告示第1441号・第1442号／計算方法etc
		1) 各室での煙等の発生量の予測	各室の設定条件と検証方法を記載		
2) 煙等の流動性状の予測	検証方法の明記、排煙設備のある場合、有効排煙量の妥当性等を記載				
3) 算定結果、まとめ					
・排煙設備の構造	有効排煙量の妥当性				

避難安全性能評価用提出図書 一目次及び必要記載事項

SH - 避 - A05

章	目次	必要記載事項	備考
4	まとめ(検証結果一覧)	・検証結果一覧	まとめ方によっては3章に含めても良い
5	補足資料	・管理・運営	原則として2章に含めるべきものだが、ボリュームが大きい場合には別章に分けても良い
6	図面一式 ^{※1}	・建築図一式	平面図・立面図・断面図
7	避難安全計算書 ^{※1}	・避難時間の算定 ・煙等降下時間の算定	入力値などの詳細データ及び計算過程などがわかる一覧表。 告示第1441号、1442号による部分設定条件等がわかるように作成。 原則として3章にまとめるべきものだが、ボリュームが大きくなるような場合は、詳細データを別章に抜き出し、3章は結果のみの表示として良い。

※1 5章及び6章は別冊としてもよい

注) この目次構成は、参考例であり、設計者の判断により構成を組み替えても良い